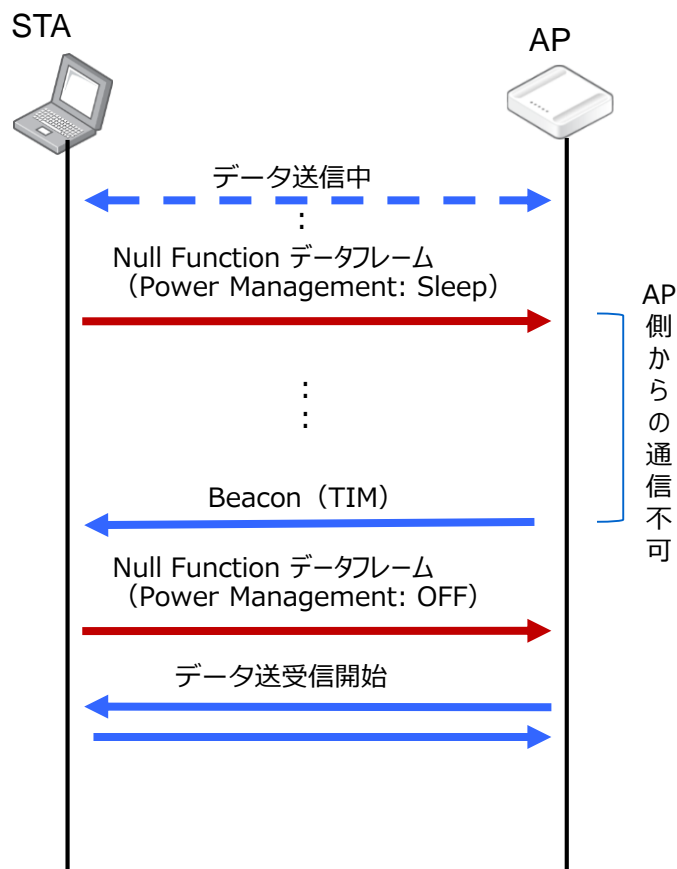


# 無線通信が遅い（省電力（パワーセーブ）モード）

対処ポイント  無線AP

無線端末

無線LAN環境



- 省電力（パワーセーブ）モード  
無線端末のバッテリー消費量を抑制するための機能になります。
- 状況  
無線端末の中には、通信中の場合でも定期的に省電力モードに移行するため、その間、無線APからの通信を受け取れない状況となる場合があります。そのため、パケットロスが発生し、通信が遅延します。
- 対応策  
無線通信で「遅い」「不安定（パケットロス等）」などの事象が起きた場合には、省電力モードを解除することで、事象が改善されるかを確認してみます。

次ページ

# 無線通信が遅い（省電力（パワーセーブ）モード）

対処ポイント  無線AP  無線端末  無線LAN環境

## ■ 対処ポイント （無線端末）

省電力モード（※1）を解除します。

（例）においては、最大パフォーマンスを選択すると省電力モードが無効となります。

※1：省電力モードを解除することができない無線端末もあります。

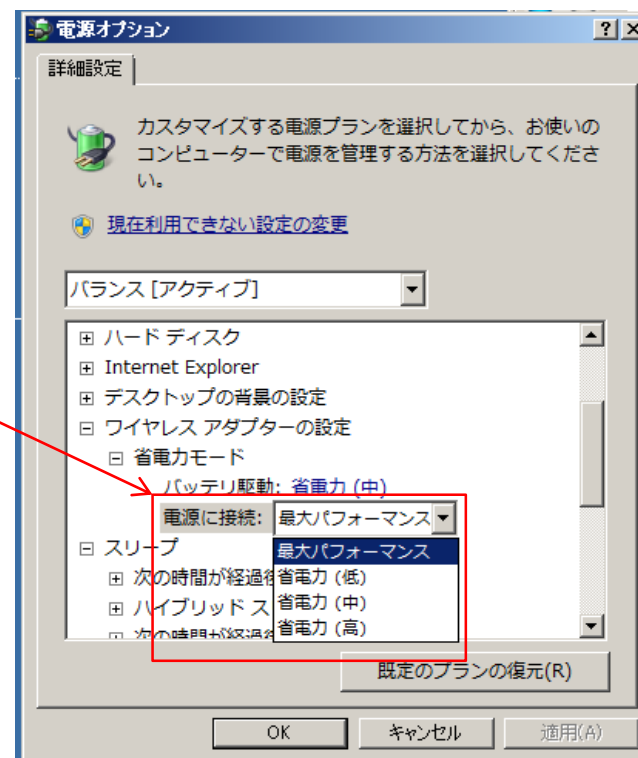
## （無線AP）

各種製品のリファレンスマニュアルから「無線」の設定を確認します。

パラメーター項目より「DTIM間隔」（※2）にて、数値を調整します。

※2：DTIMを変更可能な製品のみ

（例）Windows OS系の場合



前ページ